

令和7年度 第1回 蕨市立図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和7年8月30日（土） 午前10時から午後0時3分まで
- 開催場所 蕨市立図書館 3階 会議室
- 議題
- （1）令和6年度事業報告について
 - （2）令和7年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について
 - （3）令和7年度教育委員会事務事業点検評価（図書館）について
 - （4）令和6年度窓口サービスアンケート（図書館）の結果について
 - （5）第3次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果について
 - （6）蔵書点検及び図書館システム更新に伴う臨時休館について
 - （7）蕨駅西口新図書館移転に係る検討状況について

出席者氏名 <出席委員>

町田 敏子会長、蓮沼 昌代会長代理、石田 俊介委員、椿 智絵委員、
岡本 和子委員、中村 和弘委員、高濱 直美委員、近江 睦代委員、
荻原 由美子委員、杉本 孝一郎委員

<欠席委員>

なし

<事務局：図書館職員>

佐藤館長、藤橋管理係長、小河原主査

会議経過

管理係長から開会し、委嘱状交付、佐藤館長あいさつ、資料確認の後、議題に入る。

（1）令和6年度事業報告について

管理係長が議題1を説明し、質疑応答に入る。

委員：予約件数が増えているが、一般と児童の年間貸出利用者数が減っている。どの図書館でも利用者数や貸出数を重視していると思われるが、昨年度、貸出減になった理由を明確にしてほしい。また、職員手当等の期末と勤勉手当の数字が間違っている。ほかに図書の購入費が200万くらい減っているがその理由は。

事務局：貸出点数が減ってしまった理由は、冷房設備が故障したことにより、本館に臨時休館した期間があったことで、開館日数が減となったことによるものであると考えている。ただ、新規の利用登録者数は増えている。今後は新図書館の移転に伴い、滞在型の図書館を目指していくことになるため、雑誌や新聞の閲覧、勉強での来館だけになると来館者数は増えても貸出者数には反映されなくなる。職員手当等の期末と勤勉手当の数字については訂正する。図書の購入費が減額になった理由は、冷房設備が故障したため予算の流用を行った。流用した分の金額が年度末の直前に戻ってきたものの、年度末に購入冊数を急に増やすことは難しく、結果として執行残になってしまった。

（協議会終了後、近隣市図書館の状況を調べましたので、掲載します）

	開館日数	来館者数	貸出点数
川口市立中央図書館	R6：219日 R5：343日 124日減 ※1	R6：574,964人 R5：792,999人 27.5%減	R6：959,175点 R5：1,267,354点 24.3%減
さいたま市立中央図書館	R6：330日 R5：333日 3日減	R6：5,704,379人 R5：5,675,797人 0.5%増	R6：1,092,332点 R5：1,121,901点 2.6%減

戸田市立中央図書館	R6：325 日 R5：307 日 18 日増 ※2	R6：437,109 人 R5：388,553 人 12.5%増	R6：309,872 点 R5：297,925 点 4%増
蕨市立図書館（本館）	R6：286 日 R5：292 日 6 日減 ※3	R6：169,146 人 R5：168,304 人 0.5%増	R6：348,150 点 R5：356,658 点 2.4%減

※1 川口市立中央図書館は、R6 年度に改修工事に伴い、開館日減となった

※2 戸田市立中央図書館は、R5 年度は図書館システムの更新に伴い、開館日減となった

※3 蕨市立図書館は、R6 年度に空調機設置工事に伴い、開館日減となった

委員：前から気になっていたが、図書の蔵書状況について十進分類法で示してほしい。そうすれば、どういった種類の本が少ないのか図書館関係者でなくても把握できると思う。

（協議会終了後、一般書・児童書・参考図書・郷土資料の内訳をまとめましたので、掲載します）

【一般書】

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術
2,688	2,651	6,687	8,084	4,670	6,324	1,930	6,839

言語	文学	文庫	新書	大活字本	その他	合計
759	25,926	18,050	6,610	815	867	92,900

【児童書】

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術
838	507	2,580	2,632	5,797	2,341	810	2,441

言語	文学	文庫	新書	絵本	その他	合計
586	23,420	3,329	1,037	27,879	177	74,374

【参考図書】

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術
1,410	208	1,309	1,805	609	448	290	697

言語	文学	新聞縮刷	その他	合計
529	760	957	136	9,158

【郷土資料】

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術
635	218	3,611	2,749	338	436	613	667

言語	文学	郷土人著	新聞埼玉	蕨市資料	蕨市関連著作	その他	合計
23	335	509	1,044	4,484	36	128	15,826

(2) 令和7年度夏季休業期間中における図書館の利用時間について
管理係長が議題2を説明し、質疑応答に入る。
質疑応答なし。

(3) 令和7年度教育委員会事務事業点検評価（図書館）について
管理係長が議題3を説明し、質疑応答に入る。
質疑応答なし。

(4) 令和6年度窓口サービスアンケート（図書館）の結果について
管理係長が議題4を説明し、質疑応答に入る。

委員：実施期間が一部、蔵書点検中の休館と被ったため、回答数が少なかったという説明を受け、「館長への手紙」のような図書館へ直接問い合わせ窓口が通年であれば、図書館のサービスや疑問について、意見を寄せられると思うので、検討してほしい。

委員：高校生の展示コーナーには、生徒への応援メッセージを送ることができるようにしてほしい。

委員：窓口サービスアンケートをWebで回答した意見は、図書館でわからないのはなぜか。

事務局：窓口サービスアンケートの回答は紙媒体、Webともに人事課に提出することになっている。図書館に提出いただいた紙媒体の分は、人事課に提出する前に図書館で集計できるが、Web回答分は図書館を経由しないため、図書館では把握できない。

委員：Webの分も合算しなければ、図書館はどのような意見があるのか把握できないのではないかと。次回以降は人事課と交渉して、Web回答分も合算されたい。

事務局：当該アンケートは、全庁一斉実施であり、Web回答分については、それが図書館の利用者からの回答なのか、他部署に対する回答なのかが判別出来ないため、合算は難しいと考える。紙媒体で図書館に提出されたものであれば、図書館に対する回答であることが判別できるが、紙媒体であっても、直接、市役所に提出されたものは、Web回答分同様、判別不可である。

委員：窓口サービスアンケートの結果はどこかに掲示しているのか。

事務局：人事課のページ「窓口サービスアンケートの結果について」に掲載されており、何件の集計があって、どういう意見があったか等が記されている。ただ、図書館単独の結果は記載されておらず、全庁で集計した結果が掲載されている。

委員：市の総合的なアンケートを人事課が実施したということか。

事務局：ご認識のとおり。

委員：図書館独自で行うアンケートを図書館ホームページに掲載したほうがよいのではないかと。人事課で行っているアンケートよりも有用性があるように思われる。

委員：回答件数が36件となっているが少ないと感じる。図書館でメールアドレスを持っている人を無作為抽出して、図書館のアンケートをオンラインで実施してもよいのではないだろうか。

(5) 第3次蕨市子ども読書活動推進計画進捗状況調査結果について
管理係長が議題5を説明し、質疑応答に入る。

委員：読書貯金通帳や読書登山は、読書量が可視化できるため、すごくよい取り組みだと思える。最近読んだ本には、基本的な力は国語力であり、ということが書いてあるかを読み解く力が必要で、それを伸ばすには子どもの頃からの読書が必要だと書かれている。読書量が増えると子どもたちにどういった影響があるか、教えてほしい。

委員：中学校は小学校よりも読書時間は少ないものの、朝読書の時間を設けている。読書している生徒は落ち着いて授業に取り組んでいる印象を持っている。

委員：中学校は調べ学習や本を資料として使うことがあるが、小学校は授業の中で本を読む機会が多い。みんなで静かに落ち着いた雰囲気を読書に集中する時間を大切にしている。読書を通じて、落ち着いて授業に取り組むことや、授業に集中してもらうことは重要だと思われる。

委員：朝読書で電子図書を利用しているか。

委員：小学校は電子図書よりも紙媒体の本を読んでいる。

委員：中学校は電子書籍を禁止していないので、朝読書用の本を忘れた生徒が利用している。また、学級文庫等を置いて読書ができる環境にある。

事務局：電子書籍の利用の大多数は小学生である。

委員：授業では紙媒体からタブレットに置き換わっていると思うが、その背景について教えてほしい。

委員：コロナの影響によるところが大きい。家でも授業が受けられるようにオンラインを活用した授業が始まり、デジタル教科書を進めてきた。現在は従来の教科書とデジタルを両立しながら授業を進めている。

(6) 蔵書点検及び図書館システム更新に伴う臨時休館について

管理係長が議題6を説明し、質疑応答に入る。

委員：いつから変わるのか。市民への周知方法については。

事務局：9月23日から始まる。図書館のホームページや広報蔵9月号のお知らせ版にも掲載する予定。

委員：市のホームページには掲載しないのか。図書館のホームページを見る人はいるだろうか。

事務局：開館日のカレンダーがあることから、図書館のホームページは見られていると思われる。

委員：図書館に来館しなくても、新システムで実装されるマイナンバーカード連携やLINE連携のやり方はわかるだろうか。

事務局：ホームページに連携方法を記載する。もしわからなければ、個別に連携方法についてレクチャーしたい。

委員：現在の利用券は使えるのか。

事務局：利用できる。マイナンバーカードやスマートフォンでも図書館利用券として貸出サービスが受けられるようにすることで、利用者に選択の幅が広がり、個々人の一番使いやすい種類のもので図書館を利用していただくことを期待している。

委員：デジタル化が進んでいるにも関わらず、読書手帳のシールについてはちょっと時代に逆行しているような印象を受ける。スタンプ機能がスマートフォンで実装されていることから、新システムが導入されるにも関わらず、シールが必要ということでコストが増えてしまうのではないか。

事務局：読書手帳は、読み聞かせを通じて保護者と子どもの絆を深めていただき、読み聞かせをした本を記録として残し、大人になったときに振り返ることができるといった趣旨で始めたため、紙媒体のものを採用している。ただ現状の手書き記入では手間がかかる意見もあり、シール式も採用した。

委員：色々な図書館で本を借りているが、返却日がそれぞれ異なる。ChatGPTを用いることで、延滞がないように工夫している。

事務局：従来のWebOPACではログインしないと返却日が確認できなかったが、LINE連携をすることで、貸出状況や返却日が簡単に把握できるようになる。

委員：戸田市は返却日の2日前に返却催促の連絡が届くことも選択できる。なお、戸田や川口の図書館は延滞すると種々のサービスが受けられなくなるという厳しさがある。

委員：WebOPACの利便性向上とあるが、WebOPACはどういった際に使うのか。

事務局：図書館のホームページに利用者のページというバナーがあり、そこからWebOPACに入る。資料を検索して予約したり、自分が借りている本を把握することができる。また、延長手続きもできる。

委員：貸出冊数等もわかるのか。

事務局：現在借りている冊数も掲載される。

委員：今は利用券を更新する際は、運転免許証等の本人確認書類が必要だが、今後は不要になるのか。

事務局：今後も4年に1度の有効期限の更新は必要であると考ええる。

委員：マイナンバーカードと図書館利用券を連携させたとしても更新が必要か。

事務局：お見込みのとおり。図書館利用券とマイナンバーカードにはそれぞれに有効期限があるが、図書館システム上では、図書館利用券の有効期限のみ表示され、マイナンバーカードの有効期限は表示されないことから図書館利用券の更新が必要になる。

委員：周知方法としてホームページや広報蔵のお知らせ版だけでは足りないように思える。図書館内にも掲示をしたほうがよいのではないかと。新システムでできることや、現行の利用券のほかにも選択肢が増えることのアナウンスをしてほしい。

事務局：広報蔵のお知らせ版ではない本誌の方に掲載を依頼したところ、既に別記事の掲載予定があるとのことで、9月はお知らせ版のみの掲載になった。10月以降で本誌の掲載スペースが確保できれば、掲載するとのこと。

委員：10月は他にも多くの記事があるため難しいと思う。やはり館内に掲示して職員が説明できるようにしてほしい。目立ってわかりやすい掲示をして、詳細はホームページまたは職員にお問合せくださいといった具合にしたほうがよいのではないかと。

委員：資料を借りるときに渡される貸出期限票にもこうしたお知らせを記載する必要があると思われる。

委員：せっかく便利な機能が増えることから周知方法については検討してほしい。

事務局：より良い周知方法につき調査研究していく。

(7) 蔵駅西口新図書館移転に係る検討状況について

管理係長が議題7を説明し、質疑応答に入る。

委員：オープン記念イベントはどういったことをするのか。

事務局：現時点ではまだ決まっていないが、以前会長からいただいた案も参考にしていきたい。

委員：南公民館はそんなに広くないが、どの場所に分館を置く予定か。

事務局：2階のコミュニティ道路側のスペースに書架と閲覧席を設置できるか検討している。

委員：新図書館における駐車場と駐輪場はどうか。ほっとプレイスでゆったり、という割に、30分100円、200円の費用が発生してしまえば、ゆったりできない。新図書館の利便性を考えると、鉄道利用者にとってはよいが、錦町在住者から見るとバスが1時間に1本しかなく利便性が悪い。また、子連れの家族は車で来館したい。税金を支払っている立場からすると、図書館に行く経費がかかるのは納得いかない。無料にすることはできないと思うが、2時間までは安価な金額で利用できるようにしてほしい。

事務局：駅前には駐車場が確保できないため、恐らく無料にはできない。

委員：武蔵浦和の図書館は30分100円かかる。15分までは無料だが、急いで返却し、借りなければならず、ほっとプレイスとはいえない。遠くの子連れの家族のことを考えると安価な駐車料金にしてもらいたい。

委員：新図書館では、滞在型の図書館になるが、どれくらいの席数とどれくらいの人が利用できるのか。また、図書館は草加市民も利用できることになっているが、草加市の図書館では、蔵市民は利用できるのか。

事務局：現在は蔵市とさいたま市で協定を結んでいるほか、県南4市（蔵市、川口市、戸田市、草加市）との協定も結んでいることから、草加市の図書館であっても蔵市民は利用できる。席数については、決定次第、お知らせしたい。

委員：新図書館に移転して図書館整備を終わりにしないでほしい。鉄道利用者には利便性が高まるが、大

方の市内在住者にとっては不便になる。図書館行政を考えたときに、これからは分館の充実を継続してほしい。

事務局：西公民館が今後移転するので、錦町分館は冊数や席数が大きく増える。現状の手書きの貸出簿ではなく、自動貸出機を設置できればなおよいと考える。

委員：各分館については、人の配置がなく、貸出簿で貸出をしていることから整備自体が遅れていると思われる。新図書館では指定管理者制度ではなく、直営になるようだが、市の直営を生かせるような運営をしてほしい。運営すべてが図書館主導ではなく、直営だからこそできる利点を活かして、利用者の意見を反映させ、図書館と利用者との距離を縮めてほしい。

委員：移転の問題は大変難しい問題である。言いたいこともたくさんあると思うが、どこかで折り合いをつけないといけない。

事務局：現図書館であっても、錦町からの来館は遠いことや、駐車場の数が少ないこと等、課題は多いからこそ継続的に解決の方法を考えていただきたい。

委員：座席予約システムを実施するエリアは。

事務局：読書室や閲覧・学習エリアを想定している。新聞・雑誌ラウンジや集会室、スツールが置かれている席は自由に利用できるように検討している。

委員：新図書館整備基本方針内の緑で塗られている部分とグレーの部分について説明してほしい。

事務局：緑は行政センターであり、グレーは職員のバックヤードである。

委員：集会室については、どのように開放するのか。

事務局：選挙の期日前投票期間時や各種図書館イベント時以外は一般席として開放したいと考えている。

委員：新図書館整備基本方針（案）を見て、文章が多すぎるからもう少し簡潔に箇条書きにしたほうがよいのでは。2点目として駅利用者ばかりではないので、駅直結を活かした利便性の見出しだが、利便性向上だけでよいのではないか。また、その下の文章の「駅直結という絶好の立地を活かして・・・」とあるが、「絶好の」は不要ではないか。駅利用のない人には不快と思われる。3点目として開館時間の小見出しに、「近隣の類似状況を踏まえて・・・」とあるが、これも不要ではないか。4点目として充実した児童書コーナーの継承の見出しの文章は文字が多すぎる。その小見出しにボランティア支援が記載されているが、ボランティア支援は児童向けだけではない。5点目として地域資料のことが全く書いていない。6点目として蔵の特色を出していくことが読み取れない。特色の中に、地域資料を掲載したほうがよい。最後に地域資料や郷土資料は開架式にしてほしい。

委員：蔵の特色は出してほしい。入り口付近にあるラウンジコーナーの近くに市内のPRや計画を置いてほしい。先日、長野ヒデ子さんが蔵を訪れた。その時に、蔵のまちがみんな大好きになるようになるよという願いを込めて「わたしたちのまちが絵本になった」の冊子を作ったと言っていた。蔵は児童書や紙芝居が多いことから、そうした特色をPRした文言にしてもよいのではないか。

委員：今日の意見を諮問となっているが、どういう形で反映されるのか。

事務局：次回の検討委員会時に本日いただいたご意見を示し、変更の可否を判断いただく予定になっている。

委員：アイディアレベルだが、ラウンジは当初カフェ事業者が入るということであったが、集客が見込めないことということで自動販売機になったと思われる。市役所で障害者施設がカフェを運営しているので、図書館に障害者支援を込めて、市役所で実施しているような障害者施設を入れてみたらどうか。また、駐車場は、来館貯金とか貸出貯金とかで一定数たまると無料の駐車券をプレゼントするといったゲーム性を持たせてみるのもよいと思う。新図書館は障害者用の駐車スペース確保はあるか。

事務局：以前、市役所で運営しているカフェの障害者施設であるスマイラ松原にヒアリングしたが、現状で手一杯であり、通所者のための施設であることから、新たな場所で出店することは難しいという回答であった。

委員：みんなのためにやさしく、利用しやすい図書館となつてほしい。

委員：自動販売機が入るが、館内ではどこで飲食できるのか。

事務局：飲む場所は特に制限を設けないが、食べる場所は、新聞・雑誌ラウンジや集会室に限定したいと考えている。

委員：中高生が食べながら騒いでいたのを他の図書館で見たことがあったので、今回どうするのか気になっていた。

事務局：集会室を開放したときに、できれば一人用の机と椅子をセットで置いて、利用者同士で席をくっつけて飲食するのもよいかと考える。

委員：小さな空間はたまり場になりがちで、他の人が入りにくい。何時間も長居できるようなスペースはよいことではないと考える。

委員：新聞記事に図書館でボードゲームの話題が触れられていた。図書館でのボードゲームの開催についてはどのように考えているか。

事務局：県内でボードゲームやカードゲームを開催しているところがあったので、現在調査しているところである。機会があれば新図書館で開催したいと考えている。

【事務連絡】

管理係長から、①本日の協議会会議録の送付について、②本日の報酬について、③次回の協議会の日程についての3点を説明。最後に蓮沼会長代理から閉会あいさつ。